

## ■ 施工手順

## 1. 下地状態の確認

- ① 磁器タイルや石材に剥がれや浮きがある場合は、すべて取り除き「アースタック」で平滑にし、完全に硬化・乾燥させる。
- ② 下地に汚れがある場合は、洗浄して乾燥する。



汚れ落とし

## 2. パテ処理

- ① 「アースコート60」または「リフォームシール」を磁器タイル面等が見えなくなる様厚さ1mm程度で下地全面を平滑にし、完全に硬化・乾燥させる。

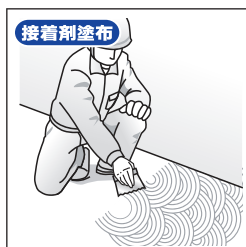
※事前にサンディング処理を行うと付着力が強くなります。



パテ処理

## 3. 床材の張り付け

- ① 床材、施工環境、使用状況などを加味して適合する接着剤を選定する。
- ② 接着剤を下地に塗布し、所定のオープンタイムをとる。
- ③ 床材を張り付け、圧着可能時間内にローラー等を掛け、床材と接着剤を十分に馴染ませる。
- ④ 床材張り付け後、24時間程度は極力人通りを避けると共に、1週間程度は直射日光や急激な空調の使用などを避け、換気をよくして養生する。



接着剤塗布



床材張り付け

## ※備考

- (1) 床材及び接着剤は、極力前日までに搬入し、施工環境に慣らしておいてください。
- (2) ビニル床シートなどを施工する場合は、施工に先立ち、巻癖、伸縮を取り除くため、仮敷きを行ってください。タイル系の床材は、反りなどが生じないように、平滑な場所で保管してください。
- (3) 冬季低温時(5℃以下)の施工は、ジェットヒーターで採暖を取るなどして施工を行ってください。
- (4) 施工後、急激な温度変化が生じると、床材が伸縮し、目透きや突き上がり、反りが発生しやすいのでご注意ください。
- (5) 床材張り付け後、床材に適した継ぎ目処理などを行ってください。
- (6) 土間床など下地の湿気の影響を受ける場所や屋外、水回りに磁器タイル等が張られている場合は、耐水用接着剤を使用して床材を張り付けてください。

## ■ 使用商品 (施工㎡数)

## ● アースタック



商品番号	荷姿	施工㎡数の目安
293-701	5kg(x4)	5㎡/5kg (1mm厚)

## ● アースコート60



商品番号	荷姿	施工㎡数の目安
293-801	4.5kg(x4)	5㎡/4.5kg (1mm厚)

## ■ 注意事項

- ① 下地の石材や大理石等にワックスが掛かっている場合は、ワックスを除去してからパテ掛けを行ってください。
- ② 溶剤系製品を使用する際は、火気・換気に十分注意してください。
- ③ 床材の種類によっては、接着しにくいものもありますので、事前に試験施工して確認された上で本施工を行ってください。
- ④ 床用パテ「アースシールシリーズ」は、下地を平滑にすることを目的としており、下地の動きを固定するものではありません。従って、極端に動きが生じた場合クラック等が発生することがありますので、ご注意ください。
- ⑤ 使用に際しては、各製品の使用方法、注意事項などを必ずお読みいただき、十分にご理解頂いた上でご使用ください。尚、製品の取り扱いに関する詳細が必要な場合は、安全データシート(SDS)をご参照ください。